

記者発表資料

**H22鶴見地下道改良他工事で
「間接工事費実績変更方式」、「難工事指定」を試行**

昨今、工事発注において予定価格超過や入札参加者がいないことなどを理由として、入札のとりやめや不調となる工事が相次いでいることから不調不落対策を試行しております。

今回発注する「H22鶴見地下道改良他工事」については、これまでに手続きを実施した同様の工事が不調となっており、標準的な積算と当該現場の見積り（実勢価格）に乖離が生じていると考えられることから、以下の試行を行います。

①「間接工事費実績変更方式」

本工事は交通量が多い市街地で行う工事であり、資材運搬、交通規制において作業効率が低下し標準的な積算と施工実績に乖離が予想されるため、その妥当性を確認のうえ実績により共通仮設費（率分）を変更する「間接工事費実績変更方式」を試行します。

②「難工事指定」

本工事は、通常の工事と比較して施工条件が厳しく作業効率が悪い工事を一定以上の工事成績で完成させた場合に、「難工事施工実績評価対象工事（試行）」において「総合評価項目に難工事施工実績あり」として加点対象とする「難工事指定」の試行対象工事とします。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 神奈川県政記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局

技術管理課 課長補佐

技術調査課 建設専門官

横浜国道事務所 電話

計画課長

交通対策課長

あら い ただし

新井 正（電話048-600-1331）

よし み せい たろう
吉見精太郎（電話048-600-1332）

045-311-2981（代）

ひら い わ よう ぞう
平岩 洋三（内線261）

たき さわ さだ お
滝沢 貞男（内線471）

} 間接工事費実績変更方式
について

} 対象工事の内容について

《間接工事費実績変更方式の工事概要》

(1) 工 事 名 : H22鶴見地下道改良他工事

(2) 工事場所: 横浜市鶴見区鶴見中央4丁目 地先

(3) 工 期: 契約の翌日から平成23年6月30日まで(予定)

(4) 入札方式: 一般競争入札 総合評価落札方式(標準Ⅱ型)
施工体制確認型

(5) 工事種別 : 一般土木工事(C等級)

(6) 工事内容(概要): ○土留止水壁設置工82枚(50ト)
○支持杭設置・撤去工11本(9ト)
○軟弱地盤処理工 16本
○覆工板設置・撤去111m²(23ト)
○土工1式
○土留支保工1式
○地下通路改修工2箇所
○エレベータ駆体構築工(RC構造)2基
○仮設工1式
○排水工1式
○舗装工1式

(7) 実績により変更を行う工種「間接工事費実績変更方式」
・ 共通仮設費(率分)のうち、運搬費、安全費

(8) 実績により変更を行う理由

本工事は、国道15号鶴見駅入口交差点において地下道の移動円滑化(バリ
アフリー化)を図るため、東京側の巻き込み2箇所において歩道スペースを拡
げ、エレベータ駆体を設置する為の地盤改良工、基礎工、地下道改良工等を行
うものです。

当該施工箇所は、交通量が多い現道上を規制しながらの工事のため、車道・
歩道利用者への影響が大きく、また、撤去鋼材運搬や交通規制において作業効率
が低下する事が考えられ、標準的な積算と実勢価格に乖離が生じることが予想さ
れるため、「間接工事費実績変更方式」を試行するものです。

(9) スケジュール

○入札公告: 平成22年 8月17日

○入 札 日: 平成22年 9月28日